



学校だより

7月号



令和5年6月30日
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ
QRコード

有意義な夏休みに

副校長 青柳 英樹

6月16日（金）に、スクールゾーン対策協議会が、数年ぶりに対面形式で開催されました。地域の町内会・自治会の会長様、金沢区地域振興課・金沢区土木事務所・金沢警察署の方々にご出席いただき、本校の子どもたちが安全に過ごすことができるスクールゾーンになるようにと話し合いが行われました。資料の作成や当日の運営など、様々な面でご尽力いただいたPTA校外委員会の皆様、ありがとうございました。

スクールゾーン対策協議会後には、第2回学校運営協議会（拡大）が開催されました。今回は拡大の会ということで、能見台地区連合町内会会長様、民生委員児童委員・主任児童委員様、学援隊隊長様、そしてスクールゾーン対策協議会に引き続いて地域の町内会・自治会の会長様にご参加いただき、地域での子どもたちの様子について話し合いました。困っているご高齢の方に気付き、自ら声をかける3年生の話や、大人が継続して挨拶を続けることで、子どもが挨拶をするようになる話があり、充実した会になりました。ありがとうございました。

父の日に、家族からアイスクリームのプレゼントをもらいました。箱の中には保冷剤として、ドライアイスが入っていました。それを見つけた娘は早速大きいコップを持ち出し、ドライアイスを入れ水を注いでいました。ブクブクと音を立てながら白い煙が出てきます。その様子を見ていて、ふと「ドライアイスは気体の二酸化炭素でできているはず。それが氷のような状態ってどういうことなのだろう。」と不思議に思い、調べてみました。

ドライアイスは二酸化炭素に圧力をかけ、冷やして固めたものだそうです。温度は、 -79°C 以下です。氷と違い、溶けても液体にならないので、床が濡れないそうです。白い煙に見えるものは、水がドライアイスによって瞬間的に冷やされて水滴や氷の粒になり、白い雲のような状態になって見えるといわれているようです。

次の機会に、調べて分かったことをよく観察してみようと思いました。

もう少しで夏休み。子どもたちには興味関心のあることにも時間を使い、有意義に過ごしてほしいと思います。